



## レジ袋有料化

### レジ袋無料配布の中止への取り組み

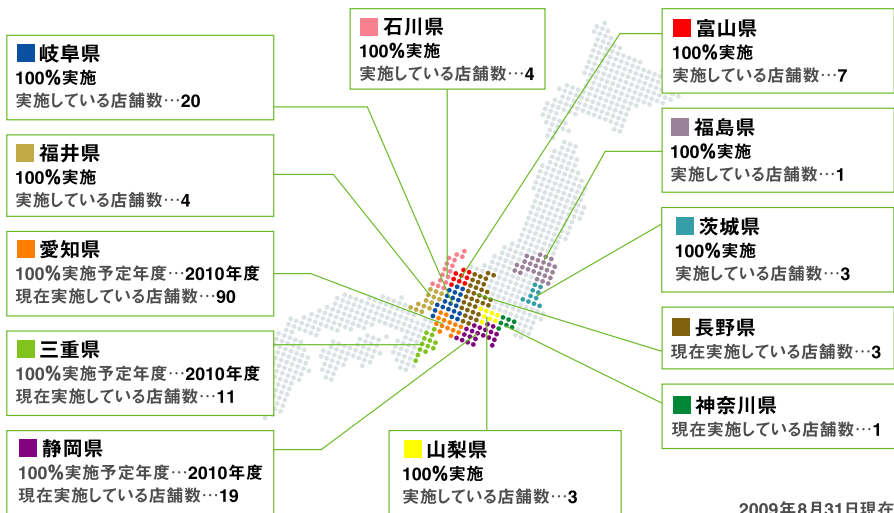
ユニーでは、ノーレジ袋キャンペーンをお客様と一緒に推進してきましたが、自治体からの「廃棄物削減、地球温暖化防止」を目的としたレジ袋使用削減の要請や消費者団体からの要望があり、2007年からレジ袋無料配布中止に取り組み始めました。

2007年に横浜市緑区のピアゴ中山店（旧ユニー中山店）で最初にレジ袋有料化を始めたところ、来店客数減少や買い上げ点数減少などにより、売上げが一時低迷し、厳しいスタートとなりました。「今までと同じようにレジ袋などの使い捨てを続けたら、未来の子供達にきれいな地球を残せない」というお客様への訴えかけにより売上げは持ち直しましたが、大きな課題が発見できました。その後、レジ袋有料化を実施するためには自治体や市民のみならずと十分に話し合い、合意を得てから始めることとし、後から始めた市町では大きな問題はありませんでした。

- 1 自治体が「廃棄物削減および地球温暖化防止」のためであることを広く市民に理解を求め、主体的に取り組むこと。
- 2 地域の市民団体が支援して下さること。
- 3 地域の小売り事業者などが皆で参加すること。

自治体・市民団体・事業者の三者がそれぞれの役割を果たすために、協議会を設立し十分に話し合い、協定書を締結するよう努める。

### 2008年度レジ袋無料配布中止実施地域



### 地域環境活動に寄付

有料レジ袋販売の売上げの一部を地域環境活動に寄付しています。

●2008年度実績  
50市町 96店舗  
7,441,807円



富山市よりレジ袋収益金寄付感謝状を授与

## 使用済みレジ袋のリサイクル

レジ袋はコンパクトで水漏れにも強く、便利なお買い物袋です。地球環境で問題となるのは、使い終わった後にゴミになることです。特に自然界に廃棄されてしまうと、朽ちることなく海に漂ったり大地に散乱したりして、たくさんの生物に被害をもたらしてしまうことがあります。もちろん、原料である石油や廃棄処分するときのCO<sub>2</sub>の発生などは、地球環境にも悪影響です。

そこで、ユニーでは2008年4月より、使用済みのレジ袋を店頭で回収し、再生利用をしています。ただ、使用済みレジ袋は汚れていたり、色がついていたりしてレジ袋にリサイクルできないものもありますが、それらは店舗に設置するベンチの原料として再利用しています。

